

「GPS/JIPS 混合物リスク評価セミナー」を開催しました。

日化協では、2016年2月18日（木）に、日化協において、「GPS/JIPS 混合物リスク評価セミナー」を開催しました。このセミナーは、昨年10月に会員限定で公開した「JIPS 混合物リスク評価のためのガイダンス」の内容説明と、JCIA BIGDr での混合物評価ツールの最新情報を提供し、会員の皆様に日化協で開発した混合物リスク評価に関する手法やツールを活用いただくためのセミナーとして企画しました。今回、約70名の参加があり、活発な質疑応答が行われました。

今回、以下の7テーマで講演がありました。

1) ガイダンスの概要

日本化学工業協会（評価技術 WG 事務局）金子 和弘

2) リード物質選定方法の概要

イー・アール・エム日本（評価技術 WG 委員）村澤 香織

3) GHS法

東レ（評価技術 WG 委員）細原 禎夫

4) GHS法を用いた混合物評価例

化学物質評価研究機構（評価技術 WG 委員）石井 聡子

5) 混合物の安全性要約書例

三井化学（評価技術 WG 委員）平田 毅

6) 混合物の安全性要約書のアップロード方法

日本化学工業協会（評価技術 WG 事務局）金子 和弘

7) B I G D r の混合物評価ツール紹介

日本化学工業協会（情報公開 WG 事務局）御子柴 尚

今後、GHS法に関して、日化協会員への理解促進と普及を更に進めていくとともに、国内での一般公開や、GHSの導入が進むアジアでの普及を目指した啓発活動を実施していく予定です。また、BIGDrの混合物評価ツールの開発・普及も進めていきます。

資料は、後日、BIGDrの資料集に会員限定で公開します。

